

## 日本集中治療医学会雑誌投稿規定

日本集中治療医学会雑誌は日本集中治療医学会の機関誌であり、日本集中治療医学会設立の目的「集中治療医学および関連領域の進歩をはかり、あわせて学術文化の発展に寄与する」ため、集中治療医学および関連領域の学術論文(邦文、英文)の投稿を受け、査読審査の上、掲載する。

### 1. 投稿方法

原稿(図・表を含む)は、本機関誌ホームページ上(<http://www.jsicm.org/publication/journal.html>)の電子投稿・査読システムより投稿する。本機関誌への投稿・論文掲載に関する問い合わせは、下記編集委員会事務局が対応する。

〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8  
株式会社Gakken メディカル出版事業部内  
日本集中治療医学会 編集委員会事務局 宛  
TEL: 03-6431-1211 FAX: 03-6431-1214  
E-mail: [jsicm@gakken.co.jp](mailto:jsicm@gakken.co.jp)

投稿に必要な関連書類(表1、詳細後述)は、著者がPDF化の上で、同システム上にアップロードする。同システムが推奨するファイル形式は、本文ならびに表はMicrosoft Word(.doc, .docx, RTF), 図はJPEG, PDF, TIFFである。

### 2. 投稿内容

投稿原稿は集中治療医学と関連の深い研究論文等で、国の内外を問わず他誌に発表されていないもの(抄録を除く)に限る。既報のデータを使用して投稿する場合には、あらかじめ本文中にその旨を明記する。

### 3. 倫理規定

臨床研究は、世界医師会によるヘルシンキ宣言に示された倫理規範を遵守しなければならない。また、厚生労働省等が提示する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「遺伝子治療等臨床研究に関する指針」「手術等で摘出されたヒト組織を用いた研究開発の在り方」「厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針」「異種移植の実施に伴う公衆衛生上の感染症問題に関する指針」「ヒト受精卵の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針」「ヒト受精卵に遺伝情報改変技術等を用いる研究に関する倫理指針」を遵守しなければならない。動物実験は医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に準拠する必要がある。以上の遵守を投稿時に確認し、当該施設倫理委員会等の承認を受けた旨を倫理規定が必要ない場合を除き、本文中に「なお、本研究は当該施設倫理委員会の承認を得た(承認番号: XX-XX)」等と明記する(承認番号の記載は必須)。同時に、患者または被験者の人権を損なうことのないよう十分な配慮が必要であり、個人情報保護に留意した記述でなければならない。なお、筆頭著者ならびに共著者のうち日本集中治療医学会の会員においては、研究倫理に関する講習(e-APRINのJSICMコースなど)を受講し、研究

表1 初回投稿時にアップロードが必要な関連書類

- ① 本学会の機関誌等で発表を行う著者の利益相反(COI)申告書
- ② 投稿論文確認表
- ③ 転載許可書(転載図表等がある場合)
- ④ 英文校正証明書(和文の短報・レターは不要)
- ⑤ 引用文献のdoiリスト(doiが付与されていない文献は、初頁コピーをアップロードする)

注:ただし、総説・解説では⑤は不要  
また、機関誌編集委員会より依頼した原稿、ならびに委員会報告では④⑤は不要

不正について十分に理解をしたうえで投稿しなければならない。ただし、本学会学術集会(支部会を含む)に演題登録した内容を、発表前に本機関誌に投稿することは、これを認める。タイトルページに「演題登録中」ないしは「演題採択済み」である旨を明記すること。

### 4. 患者の同意について

症例の報告については、患者・家族から書面で同意を得たことを論文末尾(COIの開示の前)に明記する。ただし、患者および家族からの同意が取得できない症例では、次の通りとする。①家族のいない死亡症例など、患者および家族からの同意が取得できない場合には、院内の倫理委員会による承認が必要である。②複数の症例を提示する場合には、すべての症例に対して各々同意が必要である。

### 5. 利益相反(conflict of interest, COI)の開示

日本集中治療医学会ホームページ掲載の「利益相反(COI)マネジメントに関する指針」ならびに「同施行細則」に従って、初回投稿時に全著者の「本学会の機関誌等で発表を行う著者の利益相反(COI)申告書」(過去3年間)をアップロードする。併せて、日本集中治療医学会が規定する全著者のCOIを論文末尾(引用文献の前)に明記する。COIがない場合においても、「本稿の全ての著者には規定されたCOIはない」等を明記する。「本学会の機関誌等で発表を行う著者の利益相反(COI)申告書」はホームページからダウンロードして使用する。

### 6. 著作権

掲載された論文の著作権は、著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含め、日本集中治療医学会に帰属する。また、著作者は採用された論文に関する著作者人格権を行使しない。

### 7. 論文の採択

- 1) 原稿の採否は編集委員会の審査により著者に通知する。審査には査読制を採用する。

表2 各原稿種目に対する様式・字数制限

	和文要約	英文要約	英文 タイトル	Key words (英語)	字数制限	文献
1) 総説・解説	要	要	要	5語以内	12,000字以内	100編以内
2) 原著	要	要	要	5語以内	10,000字以内	50編以内
3) 症例報告・装置	要	要	要	3語以内	6,500字以内	20編以内
4) 研究速報	不要	要	要	3語以内	4,000字以内	20編以内
5) 短報	不要	不要	要	3語以内	3,200字以内	10編以内
6) レター	不要	不要	要	不要	1,600字以内	10編以内
7) 調査報告	要	要	要	3語以内	4,000字以内	10編以内
8) 論文紹介	不要	不要	要	3語以内	1,600字以内	10編以内
9) 委員会報告	要	不要	要	制限なし	制限なし	制限なし

注1：文字数は、Wordのカウント機能を用いて以下のA、Bの数を算出し、C：図表数とあわせて下記の式から論文全体の文字数を換算する。この際のカウント対象には、タイトルページ、和文・英文要約、本文、文献、図表説明文、のすべてを含む。  
論文全体の文字数 =  $A \times 2 + B + 600 \times C$

A：半角英数の単語数

B：全角文字+半角カタカナの数

C：図表数〔表、図(写真含む)は各々600字に相当、ただし短報の表、図は1つのみに限定する。また、Fig. 1a, bなどの場合はそれぞれを個別に数え、2つとする〕

- 2) 査読により論文の修正が必要となった場合、著者は編集委員会が指定する期間内に修正論文を再投稿する。指定された期間より遅れて再投稿された論文は新規の投稿論文として扱う。
- 3) 本学会学術集会への演題登録と同時に本機関誌に論文を投稿した場合、学術集会での発表を終えた後の修正投稿時には、タイトルページに「発表済み」である旨を記載する。一方、本誌に投稿した論文が学術集会前に採択された場合には、著者より速やかに当該の学術集会事務局に報告する。

## 8. 原稿の様式

投稿原稿の種目は総説、解説、原著、症例報告、研究速報、装置、短報、レター、調査報告、論文紹介、委員会報告、支部会記録およびニュース等とする。著者は筆頭者を含めて8名以内(総説・解説・レターは5名以内)とするが、特別な場合(委員会報告含む)はその限りではない。原稿はタイトルページ、和文要約、英文要約、本文、文献、表、図(写真含む)および図(写真含む)説明文の順で構成する。ただし、写真以外の図表は原則白黒とする。各種目ごとの様式・字数制限は表2の通り。投稿論文確認表(本機関誌ホームページからダウンロード)の全項目を記入し、初回投稿時にアップロードする。

### 1) 総説および解説

総説とは、特定の主題について多数の文献・情報を渉猟し、その内容をまとめて包括的かつ多角的に説いた論文。解説とは、特定の事柄について分析して、理解しやすく説明・解説を加えた論文。

### 2) 原著

原著とは、臨床あるいは基礎研究を報告する論文。あるいは、集計そのものに希有の臨床的意義を持つ観察研究。仮説の提示、検証する方法および結果、ならび

にそれに基づく考察と導かれる結論からなる。

### 3) 症例報告および装置

症例報告とは、単独症例あるいは複数の症例経過に考察を加えた報告。単独症例の場合は、会員にとってきわめて価値のあるものに限る。装置とは、新規、希有あるいは改良された機器装置の概略や使用法等の解説。

### 4) 研究速報

原著に準じ、得られた研究結果の一部を速やかに公表し研究内容の先陣性・先見性を保証する論文。

### 5) 短報

原著あるいは症例報告に準ずるが、簡略内容で報告可能な論文。

### 6) レター

日本集中治療医学会、機関誌編集委員会あるいは掲載論文への意見・質問等、あるいは特定事象への個人的見解。

### 7) 調査報告

アンケートあるいは聞き取り調査等の結果を報告、解説する論文。

### 8) 論文紹介

本学会員への周知が有用であると考えられる他英文誌等に掲載済みの論文についての紹介。基本的には同一著者による和文論文とする。あらかじめ元の掲載出版社に掲載の許諾を得る必要がある。論文投稿の新たな業績としては扱われない。

### 9) 委員会報告

日本集中治療医学会各委員会が実施したアンケートあるいは調査等の結果を報告し解説する論文。また、健康保険収載申請や保健医療政策に関連した情報を会員に対して提供する報告も含む。一方、数値の更新のみを行う定期報告は年報に掲載するものとし、委員会報告論文とはみなさない。原稿様式は投稿規定に準じ、

ただし字数制限は設けない。委員会名で報告するものとし、個人の業績としては認めない。なお、他の雑誌との同時掲載を求める場合は執筆開始前に機関誌編集委員会に連絡すること。

## 9. 原稿の書き方

- 1) A4判に明朝体の12ポイントを使用する。また、原稿1ページの行数は32行を目安とする。横書、現代かな遣いで記入し、医学用語は集中治療用語集(日本集中治療医学会編)に従う。
- 2) 英文文字の普通名詞は文頭では大文字、文中は小文字、固有名詞は大文字で始める。
- 3) タイトルページは、①原稿の種目、②和文の表題〔研究デザインがわかるようにする(例:「～:単施設後方視研究」「～:症例報告」など)。20字を超える場合は、20字以内の見出し表題も〕、③著者名(共著者を含む)、④所属および住所(共著者を含む)、⑤英文の表題・著者名(共著者を含む)・所属・住所(共著者を含む)、ただし委員会報告の場合は英文の表題・委員会名のみで可、⑥Key words(英語)、⑦連絡先(氏名、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mail)、を記入する。原稿内容を日本集中治療医学会学術集会または日本集中治療医学会支部会で発表した場合、その旨を「第XX回日本集中治療医学会学術集会(XX年、場所)で発表した」とタイトルページに記載する。
- 4) 和文要約は400字以内、英文要約は300語以内。和文要約の字数ならびに英文要約の語数を各要約の文末に明記する。原著、研究速報は目的、方法、結果、結論を書き分ける。
- 5) 表記法
  - (5-1) 計量単位は国際単位系やCGS単位系での記載を基本とするが、容量ではリットル単位系、圧力では慣用計量単位系(mmHg, cmH<sub>2</sub>Oなど)を使用してよい。単位当たりの計量表現では、分数を用いる(例:mg/kg, mL/kg/minなど)。
  - (5-2) 薬品名は日本語の一般名を用いる。商品名を用いる場合は一般名の後の括弧内に記入する。
  - (5-3) 機器器材等は、その名称の後の括弧内に規格、会社名、外国の場合は国名を記入する。
  - (5-4) 薬剤や医療機器の適応外使用に際しては、原則として、施設の然るべき手続きを経ている旨を本文中に明記する。
  - (5-5) 文中に反復される語は略語を用いてもよい。初出の完全用語の後の括弧内に略語を明記する。タイトルに略語を使用しない。
  - (5-6) 図(写真含む)タイトル、表タイトルおよび説明文、図中の文章は英文または日本語とし、図・表の挿入箇所を本文中に明記する。写真のデジタルファイルは掲載予定サイズで350 dpi以上を用いる。写真以外の図表は原則白黒とする。図(写真含む)、表はできる限りオリジナルのものを使

用する。やむを得ず他の文献から転載する場合には、投稿前に執筆者の責任において原著者および出版社の了解を得た上で出典を明記するとともに、転載許可書を初回投稿時にアップロードする。その場合、図にはなるべく手を加えることなくそのまま転載すること。

- 6) 英文校正証明書が必要な論種に関しては、英文要約、タイトル、図表(図表内の英文、タイトルおよび説明文)について、初回投稿時に英文校正専門家(機関)の校正証明書(様式自由)をアップロードする。改訂状況により、最終稿において再校正および校正証明書を要請する場合がある。また、和文の短報・レターでも図表に英文が多い際には審査報告時に校正を要請する場合がある。
- 7) 文献の記載
  - (7-1) 文献は本文中に右片括弧書き、上付き表示した引用番号の順に配列する。
  - (7-2) 著者名は筆頭者以下3名までを記入し、それ以上は他またはet al.とする。
  - (7-3) 雑誌名の略語は、和文文献は医学中央雑誌収載目録略名表(医学中央雑誌刊行会)に、外国文献はIndex Medicusに従う。
  - (7-4) 掲載を受理された論文ならびにインターネット上に公開されているリソースは引用できる。ただし、当該リソース所有者がリンクを禁止している場合は引用できない。これらを文献に含める場合は、URLと閲覧日を付記する。なお、法令に代表される公文書など、インターネット検索以外の方法で入手できる文献には、URLと閲覧日を表示しない。アドレス等の記載方法は該当するRFC(Request for Comments)や関連図書慣習に従う。E-mailアドレスは原則として引用できないが、引用する正当な理由がある場合は本人の承諾書(書式自由)を添付すること。
  - (7-5) 学会抄録を引用する場合は、原則として3年以内のものに限る。
  - (7-6) 引用文献は、引用順に番号を付け、文献リストとdoiを記載したりリストを作成し、初回投稿時にアップロードする。doiが付与されていない文献は、初頁コピーをアップロードする。
  - (7-7) 記載方法
    - ①雑誌の場合
 

No) Authors. Title. Journal year;volume:page-page.

例 1) 立石彰男, 前川剛志, 黒田泰弘, 他. 心肺蘇生後の脳脊髄液中興奮性アミノ酸神経伝達物質濃度. 日集中医誌 1994;1:21-5.

例 2) Watson JD, Crick FHC. Molecular structure of nucleic acids; a structure for deoxyribose nucleic acid. Nature 1953;171:737-8.
    - ②単行本の場合
 

No) Authors. chapter in a book. In: editor

names, editors. book name. publication place: publisher; year. p. page-page.

例 1) 窪田達也. 集中治療医学概論. 日本集中治療医学会編. 集中治療医学. 東京: 秀潤社; 2001. p. 16-23.

例 2) Meltzer PS, Kallioniemi A, Trent JM. Chromosome alterations in human solid tumors. In: Vogelstein B, Kinzler KW, editors. The genetic basis of human cancer. New York: McGraw-Hill; 2002. p. 93-113.

### ③インターネットリソースの場合

例 1) Abood S. Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. Am J Nurs [serial on the Internet]. 2002 Jun [cited 2002 Aug 12];102(6):[about 3 p.]. Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm>

8) タイトルページを1ページ目として、原稿にページ番号を振る。なお、行番号は振らない。

## 10. 論文の校正

著者校正は原則1回とし、PDF形式にてe-mailで行う。組版面積に影響する改変は認めない。

## 11. 著者負担費用

- 1) 図・表はそのまま使用できるものに限り無料とするが、製図を要する場合は実費を請求する。
- 2) 別冊を希望する場合は、必要部数の実費を請求する。
- 3) 短報では、可読性を考慮した組版によって掲載時に3ページとなった場合に、編集制作費の差額(8,000円)を請求する。

## 12. 早期公開

当委員会が必要と認めた場合、または著者自身が希望する場合は、J-STAGE上にて早期公開を行う。著者自身の希望の場合は、実費を請求する。

## 13. その他

「不正論文取り扱い規約」を必ず確認の上、遵守すること。掲載論文を転載、複製、公衆送信、翻訳、商用利用、二次情報の作成・データベース化と公表(私的・公的機関のリポジトリあるいはアーカイブ作成)等で使用する際には、日本集中治療医学会の許可を得ること。許可申請は学会ホームページから「利用許可申請書」をダウンロードして使用する。J-STAGE公開論文の閲覧と利用方法は学会ホームページを参照すること。



## 対応する日本語およびfull termを付けずに記載する略記号の一覧

### ①一般用語

ICU (intensive care unit, 集中治療室)  
 CCU (cardiac/coronary care unit, 心臓病/冠疾患集中治療室)  
 PICU (pediatric intensive care unit, 小児集中治療室)  
 NICU (neonatal intensive care unit, 新生児集中治療室)  
 WHO (World Health Organization, 世界保健機構(関))  
 POD (postoperative day, 術後日数)  
 BMI (body mass index, ボディマス指数)  
 QOL (quality of life, 生活の質)  
 RCT (randomized controlled trial, 無作為比較試験)

### ②分野別

#### 放射線検査

MRI (magnetic resonance imaging, 磁気共鳴画像)  
 CT (computed tomography, コンピュータ断層撮影)

#### 血液生化学検査

AST, ALT, ALP, BUN, LDH, CK, CRP, Cr, T-Bil, D-Bil, FDP

ただし、初出で「血液生化学検査(値)は」等を附記すること

#### 血液凝固系検査

ACT, APTT, AT, PT, PT-INR

ただし、初出で「血液凝固系検査(値)は」等を附記すること

#### 血液一般検査

Hb (hemoglobin concentration, ヘモグロビン濃度)  
 Ht (hematocrit, ヘマトクリット値)  
 RBC (red blood cell, 赤血球)  
 WBC (white blood cell, 白血球)  
 Plt (platelet, 血小板)

#### 呼吸管理

F<sub>I</sub>O<sub>2</sub> (inspiratory oxygen fraction, 吸入酸素分画)

pH, PaCO<sub>2</sub>, PaO<sub>2</sub>, HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>, BE

ただし、初出で「動脈血ガス分析(値)は」等を附記すること

P/F比 (PaO<sub>2</sub>/F<sub>I</sub>O<sub>2</sub> ratio, 酸素化指数)

SaO<sub>2</sub> (arterial oxygen saturation, 動脈血酸素飽和度)

SpO<sub>2</sub> (oxygen saturation by pulse oxymeter, パルスオキシメータによる経皮的酸素飽和度)

PEEP (positive end-expiratory pressure, 呼気終末陽圧)

### 循環管理

HR (heart rate, 心拍数)

BP (blood pressure, 血圧)

sBP (systolic blood pressure, 収縮期(血)圧)

dBp (diastolic blood pressure, 拡張期(血)圧)

CVP (central venous pressure, 中心静脈圧)

MAP (mean arterial pressure, 平均動脈圧)

### Scaleおよびscore

APACHE (Acute Physiology and Chronic Health Evaluation) II score

DIC (disseminated intravascular coagulation) score

GCS (Glasgow Coma Scale)

JCS (Japan Coma Scale)

SOFA (Sequential Organ Failure Assessment) score

### 疾患

DIC (disseminated intravascular coagulation, 播種性(汎発性)血管内凝固[症候群])

ARDS (acute respiratory distress syndrome, 急性呼吸促進症候群/急性呼吸窮迫症候群)

COVID-19 (coronavirus disease 2019, 新型コロナウイルス感染症)

### ③統計用語

NA (not applicable, 該当無し)

NS (not significant, 有意差無し)

SD (standard deviation, 標準偏差)

IQR (interquartile range, 四分位範囲)

OR (odds ratio, オッズ比)

CI (confidence interval, 信頼区間)

### ④投与経路

i.v. (intravenous, 静脈注射)

i.m. (intramuscular, 筋肉内注射)

p.o. (per os, 経口)

### ⑤その他

DNA (deoxyribonucleic acid, デオキシリボ核酸)

RNA (ribonucleic acid, リボ核酸)

ECMO (extracorporeal membrane oxygenation) については、対応するfull termを付けずに記載する略記号ではないが、論文タイトルでは略記号での表記を可とする(本文内の初出にはfull termが必要)。

DPC (diagnosis procedure combination, 診断群分類)

## 略記号の記載法について

略記号は初出で「日本語 (full term, 略記号)」の形式で記載する。ただし、上記に選定した略記号は、ここに示す意味で用いる場合に限り、対応する日本語ならびにfull termの併記を省略可とする。

2000年 9月20日 制定	2011年12月16日 改定	2016年 9月 7日 改定	2021年 6月28日 改定	2024年 1月29日 改定
2004年 5月 6日 改定	2012年12月14日 改定	2017年 5月31日 改定	2021年12月10日 改定	
2010年 1月15日 改定	2013年 1月31日 改定	2018年12月13日 改定	2022年 8月26日 改定	
2011年 1月21日 改定	2013年10月 7日 改定	2019年 9月10日 改定	2023年 3月 1日 改定	
2011年 7月 1日 改定	2015年12月18日 改定	2020年12月11日 改定	2023年10月12日 改定	